

新年のごあいさつ



登別市議会議長
千田 文孝

新年明けましておめでとうございます。

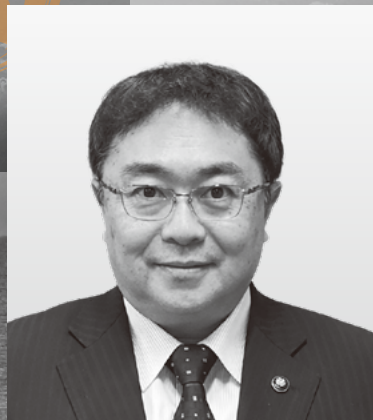
皆さまにおかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、昨年は今任期後期の議会人事、委員会体制をスタートさせました。次期改選後の定数16名の議会運営がスムーズに移行できる体制整備と、市民との意見交換などから課題を収集し、継続的に改善を進めていく政策サイクルの導入、さらなる議会・議員活動の見える化、次世代の成り手を考慮した議員報酬の検討を進めております。

地方議会に求められていることは、条例制定や予算審議を通じての政策立案・政策決定、公正・透明な議会運営、住民参加の促進、専門性の向上、そして多様な課題に対応できる実効性ある機能強化にあります。次期改選後の登別市議会が市民の皆様の期待以上のものとなるよう、議論し準備を進めてまいります。

年明けから、登別市の未来を左右する「登別市第4期基本計画」の審議が始まります。少子高齢化という持続可能性を揺るがす重大な課題が私たちの前に立ちだかっています。しかし、私たちはこの困難を必ず乗り越え、子どもたちが誇りを持って登別の未来を担えるよう、全力で議会議論を重ねてまいります。

結びに、市民の皆さまにとりまして、本年も幸せに満ちあふれた実り多き年となりますよう、ご健勝とご多幸を衷心よりご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。



登別市長
小笠原 春一

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年は5期目の市政執行にあたり表明した『こどもファースト』のもと、保育料の引き下げや多子軽減の拡大、一時預かり支援、乳児等通園支援の創設など、子育ての経済的負担を軽減するとともに、良好な育成環境の整備に努めたほか、3月には新たな消防庁舎が供用を開始するとともに、11月には、室蘭市、登別市、西胆振行政事務組合による消防通信指令業務の共同運用を開始するなど、市民の安全安心を守る基盤を整えてまいりました。

本年は、令和8年度から17年度を計画期間とする、このまちの10年物語『登別市総合計画第4期基本計画』がスタートします。

平成8年策定の『登別市総合計画基本構想』に基づいてまちづくりを進めることを基本に、基本構想で描くまちのあるべき姿の実現に向け、このまち『のぼりべつ』を未来にしっかりとつなぐための重要な計画であります。

計画の実現に当たっては、行政はもとより市民や企業、各種団体の皆様などとの協働がより重要となりますので、これまでと変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶といたします。